

ヒト腎組織における線維化および炎症細胞浸潤の動態解析

1. 研究の対象

2000年4月～2014年12月に当院で腎移植療法を受けられた腎移植レシピエントの方、剖検となった方、あるいは腎癌にて腎摘術を施行された方

2. 研究目的・方法

近年世界各国で末期腎不全の患者さんが増加の一途を辿っております。慢性腎臓病(Chronic Kidney Disease: CKD)は基礎疾患を問わずある程度進行すると腎間質の炎症細胞浸潤および線維化を伴いながら進行し末期腎不全へと至ります。しかしながら間質への炎症細胞浸潤や線維化が基礎疾患の種類や性別、年齢などによりどのように変化するかについては不明な点が多く見受けられます。疫学研究では女性の方が腎障害に対し抵抗性であること、加齢に伴い腎障害が悪化しやすいことなどが示されておりますが、それらの腎臓における組織学的所見に関しては殆どわかっておりません。

本研究ではヒト腎臓病を対象にして炎症細胞浸潤および線維化の程度を確認し、それらが基礎疾患・性別・年齢などによりどのように変化しうるのかを解析することを目的として行うものです。2000年4月から2014年12月までの期間で秋田大学医学部附属病院において腎移植を施行された腎移植レシピエントの方、剖検が施行された方、あるいは腎癌にて腎摘術を施行された方のうちブロックの腎組織標本を有する方、を対象とさせていただきます(コントロールとして脾臓やリンパ節の試料も扱います)。測定項目は、年齢、性別、BMI、糖尿病・高血圧の有無、eGFR、血清Cr、慢性腎臓病・自己免疫疾患・腎盂腎炎・血液腫瘍性疾患などの既往歴などの臨床パラメーター、および病理学的な測定項目として、線維化領域の面積の定量化、腎間質に浸潤している炎症細胞の種類・数の定量化、その他特徴的な病理学的所見を認めた場合にはその頻度・性質などを評価いたします。これらの病理学的な定量データと臨床パラメーターとの関連についての解析を行います。

期間：本学倫理審査委員会承認日から2020年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：腎生検標本(パラフィンブロック)等

情報：病歴、合併症等の発生状況、カルテ番号等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

腎生検標本組織等を薄切したものをデータセンターへ郵送で送付し、PAS 染色などで線維化および炎症細胞浸潤の程度・分布を評価した後に免疫染色などで質的な評価を行います。

5. 研究組織

研究顧問：京都大学大学院医学研究科・腎臓内科 教授 柳田素子

研究実施責任者：京都大学大学院医学研究科腎臓内科・TMK プロジェクト

特定助教 佐藤 有紀

データセンター：京都大学大学院医学研究科・腎臓内科

・既存試料・情報の提供、収集のみを行う共同研究機関及び提供担当者

京都大学大学院医学研究科・腎臓内科 大学院生 近藤麻紀子

秋田大学大学院医学研究科腎泌尿器科学講座 教授 羽瀨 友則

同准教授 井上 高光、同講師 齋藤 満

秋田大学医学部付属病院 腎疾患先端医療センター 教授 佐藤 滋

秋田大学医学部付属病院 血液浄化部・泌尿器科 准教授 成田 伸太郎

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〒010-8543 秋田県秋田市本道 1-1-1

電話：018-884-6156、FAX：018-836-2619

担当者：秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座 講師 齋藤 満

研究責任者：秋田大学大学院医学研究科腎泌尿器科学講座 教授 羽瀨 友則

研究代表者：秋田大学大学院医学研究科腎泌尿器科学講座 教授 羽瀨 友則

秋田大学大学院医学研究科腎泌尿器科学講座 講師 齋藤 満(実務担当)